

自主研修

7月8日（水）に、第2回自主研修を実施しました。個人懇談前日の忙しい時期にもかかわらず、20名の先生方が参加してくださいました。

今回は、「体育授業45分間をよりよいものにするために」をテーマに、古賀先生から体育授業のマネジメントについて話していただきました。

研修では体育の授業が4つの場面で構成されていることを学びました。

①インストラクション場面

（教師の話・説明）

②マネジメント場面（準備・片付け）

③運動学習場面（実際の練習）

④認知的学習場面

（子どもたちの話し合いや振り返り）

特に、子どもたちが実際に体を動かして活動する「運動学習場面」を授業全体の50%以上確保することが、どの子も「楽しい!」と感じる体育授業づくりにつながると教えていただきました。

実際に参加した先生方も、体育の授業設計を考えるワークに取り組みましたが授業時間の50%以上を運動学習場面に充てるためには、事前準備やさまざまな工夫が必要であることを実感しました。先生方は自身の授業を振り返りながら、「どうすれば運動学習場面の時間を確保できるだろうか」という視点で考え、活発に意見交流を行いました。今回の学びを生かし、子どもたちがより主体的に、そして楽しく運動に取り組める体育授業づくりにつなげていきたいと思います。



研修で使用したワークシート

教職員研修～体育授業45分間をよりよいものにするために～

課題 跳び箱運動（開脚飛び）の略案をつくります。

メモ

①下の語群から、何時に何をするか、すべて選択して表に書きこんでください。

はじめのあいさつ、跳び箱やマットの準備、準備体操、練習（開脚飛び）、ふり回り、整理体操、跳び箱やマットの片付け、終わりのあいさつ

0分	5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	40分	45分

11時40分 11時45分 11時50分 11時55分 12時00分 12時05分 12時10分 12時15分 12時20分 12時25分

② ※課題に対する方法を思いのまま書きましょう。（課題は後で出します）

・

・

・

・

③再度、何時に何をするか、選択して表に書きこんでください。

はじめのあいさつ、跳び箱やマットの準備、準備体操、練習（開脚飛び）、ふり回り、整理体操、跳び箱やマットの片付け、終わりのあいさつ、（ほかに必要なもの付け足して書いて）

0分	5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	40分	45分

11時40分 11時45分 11時50分 11時55分 12時00分 12時05分 12時10分 12時15分 12時20分 12時25分

今日のポイント

- 4つの場面のしくみを理解する そのためにどうする？→教師の引き出しをふやしておく
- 0時間目に子どもと共有する（これが一番大事!）